

令和7年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第13回研修を開催しました！

第13回研修は、令和7年8月22日（金）、23日（土）に、雫石町南畑のコテージむらにおいて開催しました。

今回は、岩手の果樹栽培についてなどの講義と、実習野菜の収穫や管理作業、ブロッコリーの定植等の実習を行いました。

講義では、花巻農業協同組合営農部園芸販売課指導販売係技術顧問の久米正明氏を講師にお招きし、本県の果樹栽培について果物のブランド化の視点から講義をいただきました。

本県で栽培可能な果樹やその特徴や、消費者の多様化するニーズを理解し、生産する果物の価値をどのように高めるか、他産地とどう勝負していくのかなど、果物生産から流通の目指す道について熱くお話いただきました。

受講生からは、「岩手の果樹栽培も、今後チャンスがあるのではないか」、「果樹だけではなく、経営についての考え方が参考になった」と

の感想がありました。

実習では、初めにパイプハウスで栽培するトマトの収穫及び管理作業のあと、露地ほ場においてピーマンやナスの収穫と剪定、オクラの収穫を行いました。

続いて、ブロッコリーとはくさいの定植を行いました。受講生は、畦立てのあとそれぞれの苗を定植しました。

今回の実習で、14品目の定植・は種は終了となりました。今後の実習は管理作業がメインになりますが、毎回の研修の時間を大切に、これまで以上に栽培技術の習得に励んでいきましょう。

次回の研修は、令和7年9月6日（土）、北上市の岩手県農業研究センター等で開催される一般開放デーに参加し、本県における先進農業や研究について視察する予定です。



講義「岩手の果樹栽培について」の様子
講師：久米 正明 氏（画像中央）



トマトの下葉かきを行う受講生



オクラを収穫する受講生



キャベツとはくさいの苗を定植する受講生